



平成27年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 東証第1部
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄
問 合 せ 先 執行役員財務経理部長 石橋 昭男
TEL 047-344-5110

〔訂正〕「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成25年11月14日に開示いたしました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月11日）付「平成28年3月期第1四半期決算短信及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
 コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本 南海雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和 富士雄 TEL 047-344-5110
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	238,197	4.6	9,494	12.5	10,543	11.0	5,807	21.8
25年3月期第2四半期	227,725	6.0	8,437	1.9	9,494	3.6	4,768	7.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,753百万円 (15.4%) 25年3月期第2四半期 4,983百万円 (2.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	107.93	106.10
25年3月期第2四半期	102.67	87.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	236,888	144,541	60.4	2,620.22
25年3月期	228,231	136,702	59.3	2,571.35

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 143,139百万円 25年3月期 135,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

平成25年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)10円00銭が含まれております。

配当予想の修正については、本日(平成25年11月14日)に公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	3.0	20,000	1.6	22,000	1.5	12,500	10.9	237.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規一社(社名)、除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無
- ② ①以外の会計方針の変更: 無
- ③ 会計上の見積りの変更: 無
- ④ 修正再表示: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	54,629,307株	25年3月期	53,579,014株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	665株	25年3月期	953,679株
----------	------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	53,805,372株	25年3月期2Q	46,443,727株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
5. 補足情報	14
売上及び仕入の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における日本経済の状況は、現政権による経済政策への期待から、円安傾向を背景とした輸出環境の改善、株価の上昇などにより各種の景気指標は好転しており、先行きの不透明感は未だ拭えないものの、経済活動には明るさが見られております。

ドラッグストア業界におきましては、競合企業の積極的な新規出店、既存の店舗展開エリアを越えた新たな競合の出現、M&Aによる競合企業の規模拡大、同質化する異業種との競争や医薬品ネット販売への対応など、我々を取り巻く経営環境はこれまで以上に大きく変化しております。

このような環境のなか、当社グループは、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべく全国を7つのエリアに分け、エリアドミナント戦略を積極的に推進するとともに、ターゲット別のライフスタイルの変化に対応したMD戦略の再構築など、地域に密着したかかりつけの薬局として、企業価値の向上とシェア拡大に向け取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東エリアを中心にエリアドミナント化を推し進めるとともに新たなエリアへ侵攻し、グループとして54店舗（フランチャイズ2店舗を含む）を出店し、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に59店舗の改装を実施、スクラップ&ビルドを含め将来業績への貢献が見込めない30店舗を閉鎖しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,414店舗となり、前連結会計年度末と比較して24店舗増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,381億97百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益94億94百万円（同12.5%増）、経常利益105億43百万円（同11.0%増）、四半期純利益58億7百万円（同21.8%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による既存店舗の活性化、シーズン商品の早期展開、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、継続されている効率的かつ効果的な販促策および新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、展開を強化しております調剤事業に関しましても、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新規開設や地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとのフランチャイズ契約の締結、既存契約企業の新規出店などにより拡大した一方、モリスリテール株式会社及び杉浦薬品株式会社の2社を完全子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は2,290億74百万円（前年同期比5.3%増）、卸売事業75億14百万円（同15.1%減）、管理サポート事業16億8百万円（同12.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,368億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて86億56百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が10億71百万円減少したものの、現金及び預金が70億4百万円、流動資産のその他が16億23百万円、有形固定資産のその他が10億59百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は923億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億17百万円増加いたしました。主な要因は、1年内償還予定の新株予約権付社債が36億57百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が39億円、ポイント引当金が7億87百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,445億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて78億38百万円増加いたしました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の行使により、資本金、資本剰余金がそれぞれ9億55百万円増加したこと、四半期純利益58億7百万円を計上したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は185億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して70億4百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは133億72百万円の収入（前年同期比6億95百万円の収入増）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益98億30百万円、減価償却費25億66百万円、売上債権の減少額10億73百万円、仕入債務の増加額39億円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額64億85百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは36億24百万円の支出（前年同期比11億43百万円の支出増）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入5億20百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出24億86百万円、敷金及び保証金の差入による支出12億30百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは27億43百万円の支出（前年同期比47億31百万円の支出減）となりました。主な要因は、配当金の支払額15億77百万円、リース債務の返済による支出7億47百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	18,568
受取手形及び売掛金	11,846	10,774
商品	<u>59,227</u>	<u>60,072</u>
貯蔵品	508	494
その他	16,604	18,227
貸倒引当金	△186	△36
流動資産合計	<u>99,563</u>	<u>108,101</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,041	42,020
その他	24,313	25,373
有形固定資産合計	<u>66,355</u>	<u>67,393</u>
無形固定資産		
のれん	6,655	6,277
その他	4,073	3,819
無形固定資産合計	<u>10,728</u>	<u>10,096</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,542	35,530
その他	16,599	16,315
貸倒引当金	△557	△549
投資その他の資産合計	<u>51,584</u>	<u>51,296</u>
固定資産合計	<u>128,668</u>	<u>128,786</u>
資産合計	<u>228,231</u>	<u>236,888</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,593	59,493
短期借入金	300	—
1年内償還予定の新株予約権付社債	3,657	—
1年内返済予定の長期借入金	199	136
未払法人税等	4,463	4,432
賞与引当金	2,968	3,280
ポイント引当金	1,873	2,660
資産除去債務	20	15
その他	10,544	10,286
流動負債合計	<u>79,620</u>	<u>80,306</u>
固定負債		
長期借入金	91	41
退職給付引当金	1,202	1,276
資産除去債務	3,897	4,027
その他	6,717	6,694
固定負債合計	<u>11,908</u>	<u>12,039</u>
負債合計	<u>91,528</u>	<u>92,346</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	22,041
資本剰余金	21,866	22,821
利益剰余金	<u>93,697</u>	<u>97,434</u>
自己株式	<u>△2,238</u>	<u>△2</u>
株主資本合計	<u>134,411</u>	<u>142,294</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	844
その他の包括利益累計額合計	<u>906</u>	<u>844</u>
新株予約権	23	35
少数株主持分	1,361	1,367
純資産合計	<u>136,702</u>	<u>144,541</u>
負債純資産合計	<u>228,231</u>	<u>236,888</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	227,725	238,197
売上原価	164,533	169,851
売上総利益	63,192	68,345
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	720	792
給料及び手当	18,634	20,019
賞与引当金繰入額	3,012	3,274
退職給付費用	409	464
地代家賃	12,256	12,932
その他	19,721	21,367
販売費及び一般管理費合計	54,755	58,851
営業利益	8,437	9,494
営業外収益		
受取利息	92	90
受取配当金	131	138
固定資産受贈益	323	251
発注処理手数料	257	296
その他	372	324
営業外収益合計	1,176	1,100
営業外費用		
支払利息	43	15
貸倒引当金繰入額	47	21
持分法による投資損失	10	—
その他	18	15
営業外費用合計	119	52
経常利益	9,494	10,543

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
特別利益		
固定資産売却益	8	19
特別利益合計	8	19
特別損失		
固定資産売却損	52	0
固定資産除却損	138	166
減損損失	572	468
投資有価証券評価損	307	—
その他	179	96
特別損失合計	1,250	731
税金等調整前四半期純利益	8,251	9,830
法人税、住民税及び事業税	3,622	4,369
法人税等調整額	△194	△378
法人税等合計	3,428	3,990
少数株主損益調整前四半期純利益	4,823	5,839
少数株主利益	55	32
四半期純利益	4,768	5,807

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,823	5,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	160	△86
四半期包括利益	4,983	5,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,929	5,745
少数株主に係る四半期包括利益	54	8

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,251	9,830
減価償却費	2,413	2,566
減損損失	572	468
のれん償却額	472	483
賞与引当金の増減額（△は減少）	245	312
貸倒引当金の増減額（△は減少）	36	△18
ポイント引当金の増減額（△は減少）	720	787
退職給付引当金の増減額（△は減少）	63	73
受取利息及び受取配当金	△223	△228
支払利息	43	15
持分法による投資損益（△は益）	10	—
固定資産除却損	138	166
売上債権の増減額（△は増加）	616	1,073
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,643	△831
仕入債務の増減額（△は減少）	1,595	3,900
預り金の増減額（△は減少）	35	△21
未収入金の増減額（△は増加）	△768	△554
未払金の増減額（△は減少）	△178	△16
その他	488	1,723
小計	16,177	19,731
利息及び配当金の受取額	134	141
利息の支払額	△41	△14
法人税等の支払額	△3,594	△6,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,676	13,372

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,377	△2,486
無形固定資産の取得による支出	△383	△265
敷金及び保証金の差入による支出	△602	△1,230
敷金及び保証金の回収による収入	718	520
子会社株式の取得による支出	△1,100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	387	—
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△125	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480	△3,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,436	△300
リース債務の返済による支出	△626	△747
長期借入金の返済による支出	△3,017	△113
自己株式の取得による支出	△0	△7
配当金の支払額	△1,392	△1,577
少数株主への配当金の支払額	△0	△2
その他の収入	—	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,474	△2,743
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,721	7,004
現金及び現金同等物の期首残高	9,656	11,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,378	18,568

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が955百万円、資本剰余金が955百万円増加し、自己株式を2,240百万円処分しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末の残高は資本金が22,041百万円、資本剰余金が22,821百万円、自己株式が2百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	129,350	88,094	98	8,748	1,432	227,725	—	227,725
セグメント間の 内部売上高又は振替高	24	70	148,024	26,922	5,152	180,192	△180,192	—
計	129,374	88,164	148,123	35,670	6,585	407,918	△180,192	227,725
セグメント利益	5,678	2,154	519	212	153	8,718	△280	8,437

(注) 1. セグメント利益の調整額△280百万円には、のれんの償却額△470百万円及びセグメント間取引消去189百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額572百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で310百万円、「その他小売事業」で276百万円、「管理サポート事業」で1百万円となり、連結決算における消去・調整で△15百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	131,885	97,188	75	7,438	1,608	238,197	—	238,197
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20	134	156,340	27,796	4,563	188,855	△188,855	—
計	131,906	97,322	156,416	35,235	6,171	427,052	△188,855	238,197
セグメント利益又は セグメント損失（△）	6,723	2,230	725	256	△180	9,755	△261	9,494

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△261百万円には、のれんの償却額△478百万円及びセグメント間取引消去217百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額468百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で43百万円、「その他小売事業」で433百万円、「管理サポート事業」で0百万円となり、連結決算における消去・調整で△9百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業	229,074	105.3
卸売事業	7,514	84.9
管理サポート事業	1,608	112.2
合計	238,197	104.6

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
小売事業		
医薬品	69,321	106.8
化粧品	87,053	104.9
雑貨	46,342	105.6
食品	26,190	102.5
小計	228,907	105.3
卸売事業	7,344	85.0
合計	236,251	104.6

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第2四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	46,117	112.3
化粧品	67,647	116.2
雑貨	36,364	111.4
食品	23,610	106.1
小計	173,739	112.7
卸売事業	7,448	88.7
合計	181,187	111.4

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(訂正前)



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
 コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本 南海雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和 富士雄 TEL 047-344-5110
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	238,197	4.6	9,494	12.5	10,543	11.0	5,807	21.8
25年3月期第2四半期	227,725	6.0	8,437	1.9	9,494	3.6	4,768	7.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 5,753百万円 (15.4%) 25年3月期第2四半期 4,983百万円 (2.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	107.93	106.10
25年3月期第2四半期	102.67	87.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	237,292	144,946	60.5	2,627.62
25年3月期	228,635	137,107	59.4	2,579.04

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 143,543百万円 25年3月期 135,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

平成25年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(マツモトキヨシ創業80周年記念)10円00銭が含まれております。

配当予想の修正については、本日(平成25年11月14日)に公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	3.0	20,000	1.6	22,000	1.5	12,500	10.9	237.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規一社(社名)、除外一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無
- ② ①以外の会計方針の変更: 無
- ③ 会計上の見積りの変更: 無
- ④ 修正再表示: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	54,629,307株	25年3月期	53,579,014株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	665株	25年3月期	953,679株
----------	------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	53,805,372株	25年3月期2Q	46,443,727株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13
5. 補足情報	14
売上及び仕入の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）における日本経済の状況は、現政権による経済政策への期待から、円安傾向を背景とした輸出環境の改善、株価の上昇などにより各種の景気指標は好転しており、先行きの不透明感は未だ拭えないものの、経済活動には明るさが見られております。

ドラッグストア業界におきましては、競合企業の積極的な新規出店、既存の店舗展開エリアを越えた新たな競合の出現、M&Aによる競合企業の規模拡大、同質化する異業種との競争や医薬品ネット販売への対応など、我々を取り巻く経営環境はこれまで以上に大きく変化しております。

このような環境のなか、当社グループは、小商圏化する市場への対応として、各地域における競争優位性を確保すべく全国を7つのエリアに分け、エリアドミナント戦略を積極的に推進するとともに、ターゲット別のライフスタイルの変化に対応したMD戦略の再構築など、地域に密着したかかりつけの薬局として、企業価値の向上とシェア拡大に向け取り組んでまいりました。

新規出店に関しては、関東エリアを中心にエリアドミナント化を推し進めるとともに新たなエリアへ侵攻し、グループとして54店舗（フランチャイズ2店舗を含む）を出店し、多様化するお客様ニーズへの対応及び既存店舗の活性化を重点に59店舗の改装を実施、スクラップ&ビルドを含め将来業績への貢献が見込めない30店舗を閉鎖しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間末におけるグループ店舗数は、1,414店舗となり、前連結会計年度末と比較して24店舗増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,381億97百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益94億94百万円（同12.5%増）、経常利益105億43百万円（同11.0%増）、四半期純利益58億7百万円（同21.8%増）と、売上高及び各利益とも同期間における過去最高となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、連結子会社の増加、新規出店、改装による既存店舗の活性化、シーズン商品の早期展開、地域ニーズに合わせたきめ細かな品揃えの拡充や営業時間の延長などによる利便性の追求、継続されている効率的かつ効果的な販促策および新たな施策の推進などにより収益は大きく伸長しました。

また、展開を強化しております調剤事業に関しましても、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、株式会社マツモトキヨシファーマシーズの新規開設や地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

卸売事業は、株式会社オークワとのフランチャイズ契約の締結、既存契約企業の新規出店などにより拡大した一方、モリスリテール株式会社及び杉浦薬品株式会社の2社を完全子会社化したことに伴い、両社収益が小売事業に寄与したため、卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は2,290億74百万円（前年同期比5.3%増）、卸売事業75億14百万円（同15.1%減）、管理サポート事業16億8百万円（同12.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,372億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて86億56百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が10億71百万円減少したものの、現金及び預金が70億4百万円、流動資産のその他が16億23百万円、有形固定資産のその他が10億59百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は923億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億17百万円増加いたしました。主な要因は、1年内償還予定の新株予約権付社債が36億57百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が39億円、ポイント引当金が7億87百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,449億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて78億38百万円増加いたしました。主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の行使により、資本金、資本剰余金がそれぞれ9億55百万円増加したこと、四半期純利益58億7百万円を計上したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は185億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して70億4百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは133億72百万円の収入（前年同期比6億95百万円の収入増）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益98億30百万円、減価償却費25億66百万円、売上債権の減少額10億73百万円、仕入債務の増加額39億円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額64億85百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは36億24百万円の支出（前年同期比11億43百万円の支出増）となりました。主な要因は、敷金及び保証金の回収による収入5億20百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出24億86百万円、敷金及び保証金の差入による支出12億30百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは27億43百万円の支出（前年同期比47億31百万円の支出減）となりました。主な要因は、配当金の支払額15億77百万円、リース債務の返済による支出7億47百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	18,568
受取手形及び売掛金	11,846	10,774
商品	<u>59,631</u>	<u>60,476</u>
貯蔵品	508	494
その他	16,604	18,227
貸倒引当金	△186	△36
流動資産合計	<u>99,967</u>	<u>108,505</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	42,041	42,020
その他	24,313	25,373
有形固定資産合計	<u>66,355</u>	<u>67,393</u>
無形固定資産		
のれん	6,655	6,277
その他	4,073	3,819
無形固定資産合計	<u>10,728</u>	<u>10,096</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,542	35,530
その他	16,599	16,315
貸倒引当金	△557	△549
投資その他の資産合計	<u>51,584</u>	<u>51,296</u>
固定資産合計	<u>128,668</u>	<u>128,786</u>
資産合計	<u>228,635</u>	<u>237,292</u>

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年3月31日）	当第2四半期連結会計期間 （平成25年9月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,593	59,493
短期借入金	300	—
1年内償還予定の新株予約権付社債	3,657	—
1年内返済予定の長期借入金	199	136
未払法人税等	4,463	4,432
賞与引当金	2,968	3,280
ポイント引当金	1,873	2,660
資産除去債務	20	15
その他	10,544	10,286
流動負債合計	<u>79,620</u>	<u>80,306</u>
固定負債		
長期借入金	91	41
退職給付引当金	1,202	1,276
資産除去債務	3,897	4,027
その他	6,717	6,694
固定負債合計	<u>11,908</u>	<u>12,039</u>
負債合計	<u>91,528</u>	<u>92,346</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	22,041
資本剰余金	21,866	22,821
利益剰余金	<u>94,102</u>	<u>97,838</u>
自己株式	<u>△2,238</u>	<u>△2</u>
株主資本合計	<u>134,815</u>	<u>142,699</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	906	844
その他の包括利益累計額合計	<u>906</u>	<u>844</u>
新株予約権	23	35
少数株主持分	1,361	1,367
純資産合計	<u>137,107</u>	<u>144,946</u>
負債純資産合計	<u>228,635</u>	<u>237,292</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	227,725	238,197
売上原価	164,533	169,851
売上総利益	63,192	68,345
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	720	792
給料及び手当	18,634	20,019
賞与引当金繰入額	3,012	3,274
退職給付費用	409	464
地代家賃	12,256	12,932
その他	19,721	21,367
販売費及び一般管理費合計	54,755	58,851
営業利益	8,437	9,494
営業外収益		
受取利息	92	90
受取配当金	131	138
固定資産受贈益	323	251
発注処理手数料	257	296
その他	372	324
営業外収益合計	1,176	1,100
営業外費用		
支払利息	43	15
貸倒引当金繰入額	47	21
持分法による投資損失	10	—
その他	18	15
営業外費用合計	119	52
経常利益	9,494	10,543

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
特別利益		
固定資産売却益	8	19
特別利益合計	8	19
特別損失		
固定資産売却損	52	0
固定資産除却損	138	166
減損損失	572	468
投資有価証券評価損	307	—
その他	179	96
特別損失合計	1,250	731
税金等調整前四半期純利益	8,251	9,830
法人税、住民税及び事業税	3,622	4,369
法人税等調整額	△194	△378
法人税等合計	3,428	3,990
少数株主損益調整前四半期純利益	4,823	5,839
少数株主利益	55	32
四半期純利益	4,768	5,807

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,823	5,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	160	△86
四半期包括利益	4,983	5,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,929	5,745
少数株主に係る四半期包括利益	54	8

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,251	9,830
減価償却費	2,413	2,566
減損損失	572	468
のれん償却額	472	483
賞与引当金の増減額（△は減少）	245	312
貸倒引当金の増減額（△は減少）	36	△18
ポイント引当金の増減額（△は減少）	720	787
退職給付引当金の増減額（△は減少）	63	73
受取利息及び受取配当金	△223	△228
支払利息	43	15
持分法による投資損益（△は益）	10	—
固定資産除却損	138	166
売上債権の増減額（△は増加）	616	1,073
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,643	△831
仕入債務の増減額（△は減少）	1,595	3,900
預り金の増減額（△は減少）	35	△21
未収入金の増減額（△は増加）	△768	△554
未払金の増減額（△は減少）	△178	△16
その他	488	1,723
小計	16,177	19,731
利息及び配当金の受取額	134	141
利息の支払額	△41	△14
法人税等の支払額	△3,594	△6,485
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,676	13,372

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,377	△2,486
無形固定資産の取得による支出	△383	△265
敷金及び保証金の差入による支出	△602	△1,230
敷金及び保証金の回収による収入	718	520
子会社株式の取得による支出	△1,100	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	387	—
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△125	△164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480	△3,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,436	△300
リース債務の返済による支出	△626	△747
長期借入金の返済による支出	△3,017	△113
自己株式の取得による支出	△0	△7
配当金の支払額	△1,392	△1,577
少数株主への配当金の支払額	△0	△2
その他の収入	—	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,474	△2,743
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,721	7,004
現金及び現金同等物の期首残高	9,656	11,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,378	18,568

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本金が955百万円、資本剰余金が955百万円増加し、自己株式を2,240百万円処分しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末の残高は資本金が22,041百万円、資本剰余金が22,821百万円、自己株式が2百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	129,350	88,094	98	8,748	1,432	227,725	—	227,725
セグメント間の 内部売上高又は振替高	24	70	148,024	26,922	5,152	180,192	△180,192	—
計	129,374	88,164	148,123	35,670	6,585	407,918	△180,192	227,725
セグメント利益	5,678	2,154	519	212	153	8,718	△280	8,437

(注) 1. セグメント利益の調整額△280百万円には、のれんの償却額△470百万円及びセグメント間取引消去189百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額572百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で310百万円、「その他小売事業」で276百万円、「管理サポート事業」で1百万円となり、連結決算における消去・調整で△15百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	131,885	97,188	75	7,438	1,608	238,197	—	238,197
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20	134	156,340	27,796	4,563	188,855	△188,855	—
計	131,906	97,322	156,416	35,235	6,171	427,052	△188,855	238,197
セグメント利益又は セグメント損失（△）	6,723	2,230	725	256	△180	9,755	△261	9,494

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△261百万円には、のれんの償却額△478百万円及びセグメント間取引消去217百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額468百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で43百万円、「その他小売事業」で433百万円、「管理サポート事業」で0百万円となり、連結決算における消去・調整で△9百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	229,074	105.3
卸売事業	7,514	84.9
管理サポート事業	1,608	112.2
合計	238,197	104.6

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第2四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	69,321	106.8
化粧品	87,053	104.9
雑貨	46,342	105.6
食品	26,190	102.5
小計	228,907	105.3
卸売事業	7,344	85.0
合計	236,251	104.6

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第2四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額（百万円）	前年同四半期比（%）
小売事業		
医薬品	46,117	112.3
化粧品	67,647	116.2
雑貨	36,364	111.4
食品	23,610	106.1
小計	173,739	112.7
卸売事業	7,448	88.7
合計	181,187	111.4

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。